

## 特集

# 古武術介護にできること

「古武術介護」は、武術的な身体の使い方をヒントに考案された新しい介護技術。理学療法士・介護福祉士の岡田慎一郎氏の提唱以来、医療介護現場で着実に広がりを見せています。古武術介護が活用されている現場から、「古武術介護にできること」を探ります。

## ■グラフ 古武術介護にできること

### 家庭介護の現場で

～神保信一さん・タミ子さん夫妻の場合

### 全介護への対応力

～橋本みさおさんの場合

### 「街介助」の可能性

～熊谷晋一郎さん、綾屋紗月さんの場合

## ■対談 身体への新しい視線

河本秀夫×岡田慎一郎

## ■対談 モーションキャプチャと古武術介護

岡田慎一郎×山寺純

## 新連載

# 日本の医療は女が変える

橋口佐紀子

## 編・集・後・記

●以前、販売部で四国地方を担当していました。最初は、各地域の方言がわからず、何度も聞き直していました。私の各県の方言に対する印象をあげると、徳島は標準語に近いように聞こえますが、イントネーションが微妙に違います。香川は、本州とつながっていることもあってか関西弁に近いです。愛媛は、関西弁よりもチャーミングな印象をもちました（微妙な違いなんです）。高知県は、濁音が多く、慣れるまでは外国語が混ざっているように聞こえました。また、相手がふつうに話しているだけなのに、怒られているような気分になることもありました。逆に怒られていることに気づかず、さらに怒られたこともありました。しかし、問題は、方言や言葉ではなく、相手を理解しようとする姿勢にあったようです。今号の作業をしていて、そんなことを思い起こしました。【吉田】

●『ねじとねじ回し この千年で最高の発明をめぐる物語』（早川書房）という訳書があります。この1000年間で最高の発明品は何か、というお題で取材をした筆者が、最後にたどりついたのが「ねじ」と「ねじ回し」であったというお話です。「1000年」というところがなかなかミソで、私たちが日常的に使用している発明品の多くは、案外ギリシャ・ローマ時代にすでに発明されたもののアレンジに過ぎない、ということが、本書を読むとよくわかります。個人的におもしろかったのが「尺度」をめぐるお話。たとえば「まっすぐな定規」をつくるためには、「まっすぐな定規」がいります。同様に、「正確に1m」をはかるためには、「正確に1m」ある、何らかの物体が必要というわけです。うーん、矛盾。どうやってそれらの尺度が整備されたのかは、本書を読んでいたきたいと思いますが、一見「絶対」と思えるような尺度も、起源をたどれば「相対」なんだなあと、いうことをしみじみ感じた読書でした。【鳥居】

看護学雑誌 第73巻第6号 2009年6月1日発行(毎月1回発行)

発行/株式会社医学書院 代表者 金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2009, Printed in Japan

1部定価 1,260円(本体1,200円+税5%) 年々め予約購読料 13,200円(税込、送料弊社負担)

・定期購読のお申し込み先/(株)医学書院販売部 TEL 03-3817-5659

・Vol.71 No.5以前のバックナンバーのご注文先/(株)東亜ブック TEL 03-3985-4701

「看護学雑誌」編集室(担当/鳥居・吉田・白石) TEL 03-3817-5772

表紙・本文デザイン: DESIGNWORKSHOP JIN

E-mail kangaku@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

【JCLS】<(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(TEL 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0386-9830/09/¥250/論文/JCLS」は、1論文1回複製につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCLSへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。